

トルクレンチ（PE金属継手50用）取扱説明書

■ はじめに

トルクレンチ（PE金属継手50用）をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使い下さい。

品名	品番
トルクレンチ（PE金属継手50用）	TQC1-50

この取扱説明書は、トルクレンチ（PE金属継手50用）を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。

お読みになった後は、トルクレンチ（PE金属継手50用）をご使用される方が、いつでもお読みになれるように、保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

△警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
△注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

■ 使用目的

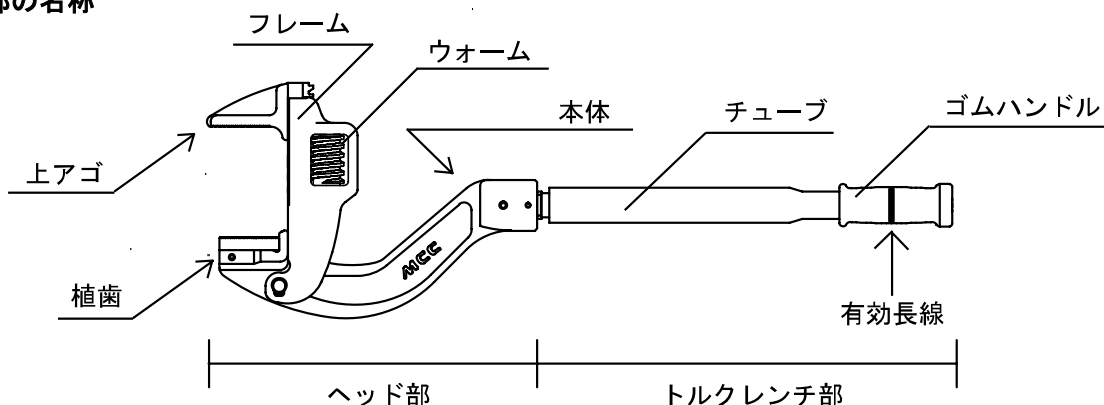
水道配水用PE管金属継手ナットの締付、及びトルク管理用工具。

■ 仕様

締付対象材（規格）	呼び径	ナット（サイズ）	トルク設定値
水道配水用PE管金属継手 （PTCB21）	50	八角 （対辺85～86mm）	150N・m

※上記仕様以外の場合はトルク管理が行えません。

■ 各部の名称



■ 安全上のご注意

⚠ 警告

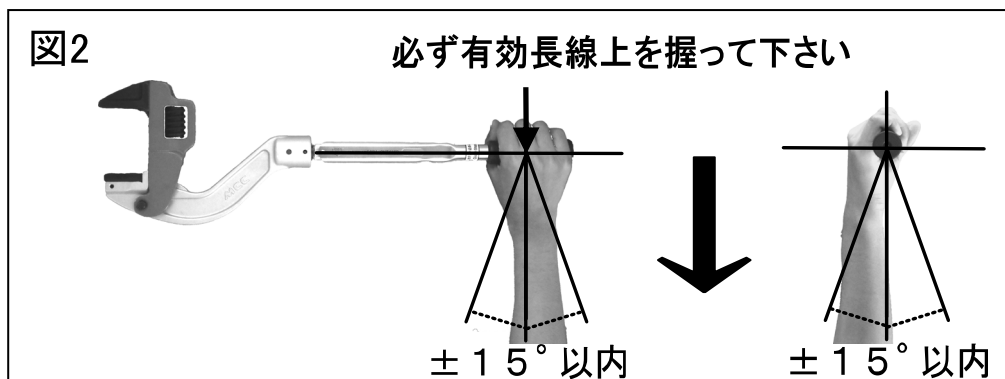
- ① レンチを締付対象材に対して斜めに取り付けた状態で使用されますとレンチが破損し大きな災害に結びつくことがあります。レンチが締付対象材に対して直角になるように取り付けてゆっくと負荷を確認しながら締付作業を行ってください。
- ② 足場の不安定な所での作業は滑る、落下するなど大変危険です。正しい姿勢で作業ができる安定した足場を確保して作業を行ってください。
- ③ 周囲の安全を確保し作業員以外は作業区域に近づけないで下さい。特にお子様には十分注意をして下さい。思いがけない事故が起こる恐れがあります。
- ④ このレンチの取扱説明書に表示された仕様の範囲を超えてご使用になりますとレンチが破損し、思わぬ事故の原因となりますので仕様の範囲を逸脱する使用は絶対にしないで下さい。

⚠ 注意

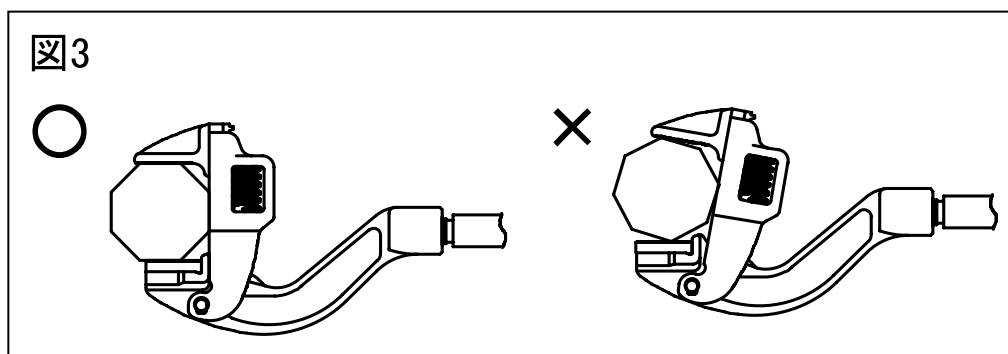
- ① このレンチはトルクの感知機能付の精密工具の為、取扱には十分注意して下さい。落下等強い衝撃が加わると破損や変形が生じ、精度、耐久性が低下し、事故や怪我の原因になります。
- ② ナットの緩め、既設管の解体などには使用しないで下さい。
- ③ パイプや棒などを取り付け、ハンドルを長くして使用する、放り投げる、ハンマでレンチを叩く、ハンマ代わりに使用することは絶対にしないで下さい。
- ④ レンチに力をくわえる際に弾みをつけたり、足で踏みつけたりしないで下さい。また、トルク感知（“カチン”という音）後にさらに力を加えることはしないで下さい。
- ⑤ 分解や改造はしないで下さい。規定のトルク値が得られないだけでなく、工具の破損に繋がります。（トルクレンチ部を取り外し、他のヘッドに取付けてもトルク設定値「150 N・m」を得ることはできません。）
- ⑥ レンチを水中に落とす、雨水のあたる場所に放置する等しないで下さい。内部に水が浸透すると故障の原因になります。万が一内部に水が浸透した場合は点検、修理を受けて下さい。
- ⑦ 使用後は汚れを取除き、乾燥した場所に保管して下さい。長時間使用しない場合は防錆剤を塗布して下さい。保管方法に問題があると精度、耐久性が低下することがあります。
- ⑧ 工具は常に点検し、磨耗や損傷のある状態では使用しないで下さい。磨耗や損傷のある場合は規定のトルク値が得られない場合があります。異常が認められた場合は点検、修理を受けて下さい。
- ⑨ 必ず有効長線上を握ってトルクをかけて下さい。有効長線上を握らないと規定のトルク値が得られません。
- ⑩ トルクレンチは後述の定期点検が必要です。測定精度を維持する為に定期的に校正されることをお勧めします。

■ 使用方法

- ① ナットにしっかりと差し込み、ナットの対辺が上アゴ及び植歯にぴったりと付くまでウォームを締め、固定してください。
- ② ゴムハンドルの有効長線上を握り、レンチを「図2 矢印方向」に回し締付を行って下さい。
※力の方向はトルクレンチに対し直角に上下左右とも $\pm 15^\circ$ 以内にする。(図2 参照)。



- ③ “カチン”と音がしたら締付完了です。
※ “カチン”と音がする時、ナットの対辺が上アゴ、及び植歯にぴったりと付いた状態であることを確認して下さい。ぴったりと付いた状態でないと規定のトルク値を得られません。(図3 参照)



■ 証明書の取扱について

- ・トルクレンチは計測機器であり、校正証明書は国家標準にトレースされたトルク機器の精度を証明する書類ですので大切に保管して下さい。
- ・添付されている校正証明書は検査日から3年間、使用開始日から1年間有効です。従って、トルク機器の最初に使用する日を校正証明書の使用開始日欄に必ず記入して下さい。

■ 点検、証明書の発行について（有償）

- ・トルクレンチは定期点検が必要です。1年に1回程度の定期点検を推奨します。
- ・定期点検の他にも乱暴な取扱、長期間放置、使用頻度が多いなどの理由により精度が狂う時がありますので精度確認が必要な際は点検を受けて下さい。
- ・校正証明書、トレーサビリティ体系図の発行についてはご購入の販売店にご相談下さい。

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所
☎ (059) 234-2454
<http://www.mccc corp.co.jp>